

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	基本、身体拘束はしない事を理解は出来ているが、禁止の対象となる具体的な行為を全員が正しく理解出来ているかは疑問である。	全員が禁止の対象となる具体的な行為を理解し、身体拘束をしないケアを実践する。	「身体拘束廃止」「虐待防止」「権利擁護」「プライバシー保護」等の研修を年間計画に入れて実施していく。	12ヶ月
2	26	思いはあっても、煩雑な業務に追われチームでの密な話し合いができにくくなっており、利用者の変化に応じた迅速な見直しが出来にくくなっている。	適切な時期での見直しの実施。	定期的なカンファレンスを実施し、記録にしっかりと残していく。	12ヶ月
3	49	希望に沿った外出支援を行っているが、偏ったご利用者の外出支援になっている。	一人ひとりの希望にそった外出支援に取り組む。	季節行事として外出を計画する。又、思い出の場所などへの外出を個別ケアとして取り組む。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。